

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法を採用している。
- (3) リース取引の処理方法
20年4月以降契約のファイナンスリース取引は売買処理を採用している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込経理方式を採用している。
- (5) 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基)	27,370,000	0	0	27,370,000
小計	27,370,000	0	0	27,370,000
合計	27,370,000	0	0	27,370,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金(基)	27,370,000	27,370,000	0	—
小計	27,370,000	27,370,000	0	—
特定資産				
その他の積立金	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	27,370,000	27,370,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	758,071,063	625,445,248	132,625,815
建物附属設備	33,089,134	33,019,934	69,200
構築物	2,485,750	2,452,727	33,023
車両運搬具	536,000	535,999	1
什器備品	67,565,626	67,490,436	75,190
ソフトウェア	367,500	79,625	287,875
リース資産	19,110,960	9,868,860	9,242,100
下水道受益者負担金	1,417,550	1,417,550	0
合計	882,643,583	740,310,379	142,333,204

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
運営費補助金	盛岡市	-	45,000,000	45,000,000	-	一般正味財産
合計		-	45,000,000	45,000,000	-	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	6,842
基本財産受取利息	
合計	6,842